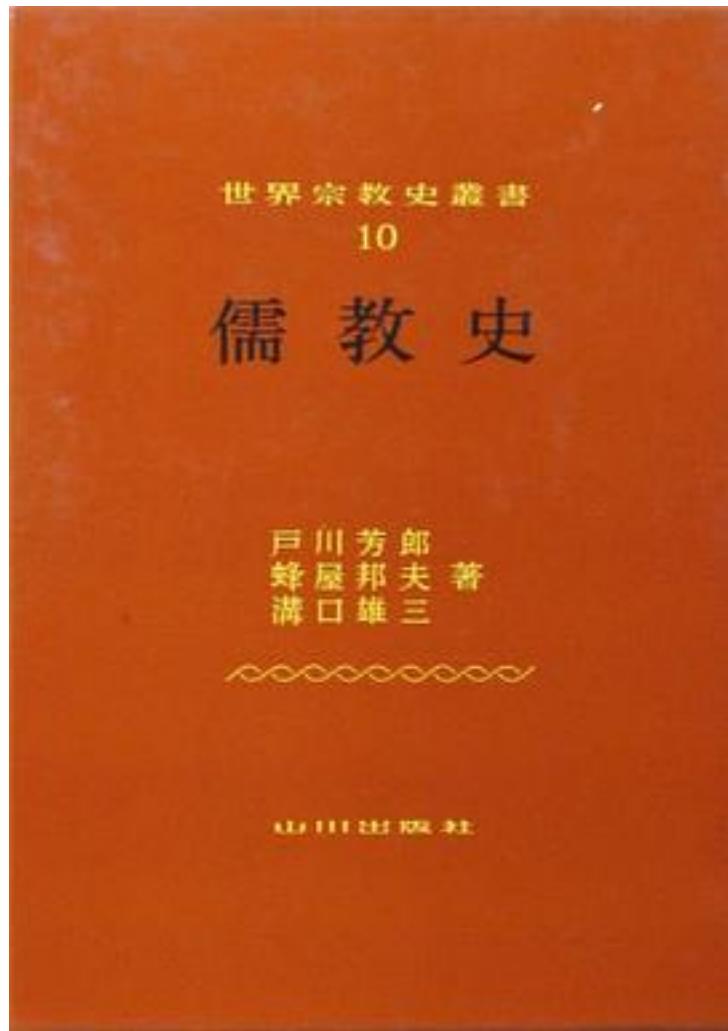


儒教史



[儒教史 下载链接1](#)

著者:戸川芳郎

出版者:山川出版社

出版时间:1987-7

装帧:单行本

isbn:9784634431003

長く中国の正統的教学であり、日本などにも大きな影響を及ぼした儒教—その成立か

ら現在にいたるまでの動向を歴史的にたどる。序章で「儒教」の名称があらわすわが国での現代的意義を説明し、以下、中国においてそれぞれの時代に、社会との関わりのなかで儒教がどのように展開していったか、そして現在の人民中国にまでいかに息づいているかを丹念に描く。

作者紹介:

目録: 序章 儒教をどうみるか

第1章 儒教の成立—春秋戦国から漢・武帝まで（原始儒家の成立—“仁”と孔子

儒家学団の展開—孟子の王道論

儒家思想の形成—“礼”と荀子

黄老思想と董仲舒

司馬遷と歴史記録）

第2章 礼教国家の学術と思想

第3章 儒教権威の相対化—三教交渉の時代

第4章 義疏学の完成と新儒教の胚胎—隋唐の儒教

第5章 仏教・道教の繁栄と展開

第6章 新体制の模索と新儒学の胎動

第7章 朱子学の興起と体制教学化

第8章 陽明学の勃興と新局面

第9章 理観の展開—明から清へ

第10章 清代の新しい理観

第11章 清代の経世論一封建論と田制論

第12章 儒教の再生—共和中国から人民中国へ

・・・・・ (收起)

[儒教史 下载链接1](#)

标签

思想史

蜂屋邦夫

沟口雄三

戸川芳郎

大四a非专业近期必读

评论

[儒教史 下载链接1](#)

书评

[儒教史 下载链接1](#)